

H24年度 事業報告（全体）

第2グループホームを開所し、引き続き“普通に暮らす”事の支援を行ってきました。仲間たちは、自宅やホームから作業所に通い、楽しさと多少の厳しさを味わいながら仕事をし、家族の協力の下、社会人として自立に向けて成長してきました。仲間の支援と共に、高齢になった家族の支援も当然の成り行きで行い、財政面を含めた職員体制への課題が見えてきました。

仲間たちの工賃アップは、国の“工賃向上計画”でも指針が示されていますが、「ともの家」として、時給のアップとまではいかず、委託作業（つばさ静岡洗濯業務）に従事する仲間への手当を付けることに留まりました。

繁盛期に対応できる仲間に限られるため、職員の大幅な時間外に頼ることが、昨年度から引き継ぎの課題になり、作業員の増員や、第2店舗ヴィーブルの休日利用等対策を練りましたが、作業員の技術がアップするまでに至らず、結局途中退職してしまいました。来年度に向けて、管理体制を含めた人材育成が大きな課題になりました。